

明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

No.55

2020年1月1日発行



大阪 真宗大谷派難波別院 南御堂

(2019年8月6日撮影)

東京一組教化テーマ

さとりをすまて 迷いと生きる

Shinran
S50th
S00th

—〈宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ〉—

🌸 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

本年も毎年の例時として報恩講を厳修いたしました。
そもそも、報恩講とは親鸞聖人の祥月命日（11月28日）の集いです。親鸞聖人が亡くなられた日に仏法を聴く集いを開いて、自らの信仰を確かめ学び直そうという人たちが集まりました。この集いを「講」といいます。真宗大谷派の本山の真宗本廟（京都・東本願寺）では毎年11月21日から28日まで勤められますし、全国の真宗大谷派の別院や寺院でも年に一度、日時を定めて勤められています。

二〇一九年
十月二十六日（土）
二十七日（日）
報恩講



報恩講法話

講師 鞠川卓史 氏

(小田原市正恩寺副住職)



◆私は宗祖親鸞聖人750回御遠忌の際に、関東における伝説伝承の調査を10年くらいさせていただきました。例えば親鸞聖人が使った箸を土に刺すと後に大木になったとか、焼鮎を川に戻したら命を取り戻したとか。関東だけで150件もの伝説伝承がありました。浄土真宗の教えを聞いている人にとっては、教えにそぐわないと感じる人もいるかもしれませんが、これは念仏に出会った人々が、その喜びを物語として、法物として残し、それが伝説伝承として今も大切にされているのだと思います。

◆西念寺蔵の『御絵伝関東の巻』があります。そこには幽霊や大蛇、餓鬼が出てきます。そして親鸞聖人がお説きになったお念仏の教えによって済度、つまり救われてい

くわけです。この幽霊や大蛇、餓鬼は何を表しているかというところ、人間の心、つまり嫉妬や怒り、不安や迷いを表しているのです。

例えば大蛇は嫉妬や怒りを表しているといわれます。また幽霊は、髪が長いのは過去に縛られ、手が出ないのは未来を手探りし、足が無いのは現在に立っていない姿です。



花見岡の大蛇済度

◆親鸞聖人はこのような和讃を残しています。

悪性さらによめがたし

こころは蛇蝎のごとくなり

修善も雑毒なるゆえに

虚仮の行とぞなづけたる

蛇蝎奸詐のこころにて

自力修善はかなうまじ

如来の回向をたのまでは

無慚無愧にてはてぞせん

(「愚禿悲歎述懐」)

劫濁のときうつるには

有情ようやく身小なり

五濁悪邪まさるゆえ

毒蛇悪龍のごとくなり

(「正像末和讃」)

このように親鸞聖人は人間の心を、毒を持つ蛇やサソリとして表して

います。

◆この毒とは自分を見失わせるものです。仏教では代表的な3つの煩惱を三毒といいます(貪欲、瞋恚、愚癡)。毒は他者を攻撃するものですが、わが身を守るための毒なのです。それは「自分は正しい」という毒です。

たとい正義たりとも、しげからんことをば、停止すべき由候う。

(『蓮如上人御一代記聞書』)

とあります。「自分は正しい」というのは、必ず争いを生み、相手を傷つけます。その最たるものが戦争です。

◆そのような私の生き方を取り戻すために「慚愧」が必要だと親鸞聖人は言います。「慚愧」とは恥じる、痛むということです。そして

親鸞聖人は

「無慚愧」は名づけて「人」

とせず、名づけて「畜生」と

す。(『教行信証』「信巻」)

と言います。親鸞聖人はこの「人」ということを課題にしたのではないのでしょうか。「人」の姿はしているが、心の中は蛇のように毒を携え、自分を守るために他者を傷つけている私がいるのです。そのような問いを持ち、生き続けられたのが親鸞聖人なのだと思います。

本当に悲しむべきを悲しみ、

痛むべきを痛み、喜ぶべきを

喜ぶ。そして人となるのです。

私たちもこのように「人」とは何かということを開法求道の中で尋ねてまいりたいと思います

(文責・住職)

◆報恩講お手伝い

報恩講をお手伝いしていただいた方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	高野	勢津子
宝田	満男	宝田	康子
瀧口	和彦	瀧口	泉
平山	邦男	堀	かおる
横澤	正克	和田	富士子
渡邊	憲章		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。なお、今後お手伝いいただける方がおりましたらご連絡ください。

◆おみがき奉仕のつどい

10月20日(日)

おみがき奉仕のつどいにご参加された方々をご紹介します。

君塚	保子	後藤	まさ子
瀧口	泉	本田	有希
本田	唯果	本田	彰一
本田	信子	渡邊	京子
渡邊	憲章		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。

次回は年5月24日(日)に行います。



福成寺・本明寺

大人の遠足2019

親鸞聖人ご旧跡日帰り旅
2019年11月24日(日)
萬福寺(神奈川県箱根町)
～箱根神社～山のホテル



福成寺・本明寺「大人の遠足2019」親鸞聖人ご旧跡日帰り旅
萬福寺(箱根町)～箱根神社～山のホテル 2019年11月24日

住職の歩み



◆ 10月18日（金）

東京教区

同朋社会推進ネットワーク

令和元年台風19号

災害支援ボランティア①

長野県長野市千曲川周辺

◆ 10月30日（水）

東京教区

同朋社会推進ネットワーク

令和元年台風19号

災害支援ボランティア②

長野県長野市千曲川周辺



その他の歩み



◆ 10月15日（火）
東京1組 組会

◆ 11月5日（火）
児童教化連盟 常任委員会

◆ 11月18日（月）
児童教化連盟 秋の研修会
テーマ…東京教区児童教化連盟
の「これまで」と「こ

れから」

講師…堀 秀之 氏
酒井義一 氏

◆ 11月21日（木）～22日（金）
東京1組 よにん会
本山報恩講出仕

◆ 12月5日（木）
東京1組 懇談会

◆ 12月10日（火）
東京教区
総合調整総務会 拡大幹事会

◆ 12月11日（水）
本所仏教会 理事会

◆ 12月14日（土）
湾岸親鸞講座③

◆ 12月18日（水）～19日（木）
東京教区

同朋の会教導協議会
テーマ…出遇い

・真宗門徒となる・
講師…牧野豊丸 氏

◆ 12月20日（金）
東京教区

『ネットワーク9』総編集会議

◆ 12月23日（月）
東京1組 教化委員会

などなど

お寺の掲示板

十月
十一月
十二月

十月

十一月

十二月



弥陀の
本願には
老少善悪の
ひとを
えらばれず
親鸞

どんなに科学が
発展しても
人間の存在は
自然の中の
一部分である

欲深き
人の心と
降る雪は
積もるにつれて
道を失う
高橋泥舟

本明寺の予定

◆本明寺 修正会・新年会

期 日.. 2020年1月13日 (月・成人の日)
時 間.. 12時〜修正会
13時〜新年会

◆本明寺 聞法会

期 日.. 2020年
1月休会
2月23日 (日)
3月29日 (日)
4月26日 (日)

時 間.. 15時〜17時 (終了後懇親会があります)

お 話.. 本田 彰一 (本明寺住職)

テ ー マ.. 輪読をしよう

(『真宗の生活』を一緒に読み、語り合いましよう)

参加費.. 500円

◆本明寺 花まつり (子ども会)

日 時.. 2020年4月12日 (日) 13時〜16時
会 費.. 300円
対 象.. どなたでも参加できます。
(でも、子どもが主役です)

※小学校二年生までは保護者同伴でお願いします。



年忌案内 2020年(令和2年)	
回忌	命終された年
1周忌	2019年 (令和1年)
3回忌	2018年 (平成30年)
7回忌	2014年 (平成26年)
13回忌	2008年 (平成20年)
17回忌	2004年 (平成16年)
23回忌	1998年 (平成10年)
25回忌	1996年 (平成8年)
27回忌	1994年 (平成6年)
33回忌	1988年 (昭和63年)
37回忌	1984年 (昭和59年)
43回忌	1978年 (昭和53年)
47回忌	1974年 (昭和49年)
50回忌	1971年 (昭和46年)
75回忌	1946年 (昭和21年)
100回忌	1921年 (大正10年)

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺までご連絡ください。

◆湾岸親鸞講座(市民講座)

テーマ:「現代社会と宗教、そして親鸞」

—(5)『教行信証』を読む—

日程:④2020年 2月22日(土)

⑤ 4月18日(土)

⑥ 6月13日(土)

講師:木越 康 氏(大谷大学学長)

受講料:1,000円

会場:すみだ産業会館、他

※会場は不定ですのでお問い合わせください

このような時にお参りします

◆法事

上記の年回忌や四十九日法要など

◆祥月命日

上記の年回忌以外の当月命日

◆月命日

毎月の命日

◆春秋彼岸

春季(3月)、秋季(9月)のお彼岸

◆お盆

本明寺に於いては7月1日〜8月31日

◆その他の仏事

誕生記念、入学祝い、卒業祝い、成人記念、結婚式、お内仏(お仏壇)安置、入仏式など慶弔を問いません

お参りをご希望される方は、日程、場所(お寺、ご自宅、墓地など)が決まりましたら、一カ月前までにお寺までご連絡ください。ご希望に添えない場合もございませうがご了承ください。

◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経
仏説観無量寿経
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活
《朝夕に勤行をいたしましょう》
正信の生活
《迷信に惑わされないうで歩みましょう》
聞法の生活
《仏法を聴聞し、生まれた意義と
生きる喜びをみつけましょう》

あとがき

▼新たな年を迎えました。本年もよろしく
願います。

▼今年はいよいよオリパライヤーですね。
遠い先だと思っていました。すぐにやっ
てきた感じ。時が過ぎるの早い。

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちして
います。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡く
ださい。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺
住職 本田 彰一（釋 彰一）
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一
TEL 03-3623-1536
FAX 03-3623-1538
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>